

1年 子どもたちのよさをさらに伸ばすために

1学期の間、子どもたちと過ごした中でさまざまなよい面を発見することができました。2学期以降は、1学期の学習や生活経験を生かし、次のような点に力を入れて授業の充実を考えています。

国語

- ・ 語彙力を増やすために、音読の充実を図り、読んだ感想を伝え合う活動を通し、自分の考えをもてるようにする。(図書室の活用など)
- ・ ひらがなやカタカナ、漢字、言語の決まりなどを繰り返し学習し、基本的な学習の習熟をはかる(MIMの活用、個別指導)。
- ・ 自分の考えを発表し、友達の考えを聞く機会を増やし、順序立てて話す力や最後まで話を聞く力を身に付けさせる。

算数

- ・ ブロック・おはじきなど具体物の操作や問題の考え方をノートに書く活動等を取り入れ、知識・技能の定着を目指して指導する。自分の考えを相手に分かりやすく伝えられるようにタブレットも活用していく。
- ・ 計算カードやタブレットドリルなどを繰り返し行うことにより、基礎的な学習の定着を図る。
- ・ 各単元前にレディネステストを行い、結果を踏まえた編成で習熟度別学習を実施する。担任、講師を連携のもとで子どもの基礎基本を定着する。

学級活動

- ・ 学級会を通して、話し合いの方法を身に付けられるように指導する。
- ・ 話し合っただけで決めたことを実践すると楽しいという体験を積ませる。
- ・ 「入二タイム」等異学年交流を通して、みんなと一緒に活動する楽しさを体験する。

入新井第二小学校の1年生

体育

- ・ 自分なりのめあてをもたせ、振り返りを行い、次の活動の意欲を促していく。
- ・ ルールや作戦などを考える活動を通して、友達と関わり、運動に対しての考えを広げていく。

ICTの活用

- ・ 自分の考えや交流の場面などでタブレット等を児童の理解がより深まるように効果的に活用していく。
- ・ タブレットを活用し、それぞれの考えを共有することで、自分の考えを深めていく。

生活

- ・ 体験的な活動を多く取り入れ、自分が気付いたことを友達に伝えたり、友達から聞いたことから自分の気づきを深めたりできるようにする。
- ・ 様々な見方や考え方を養い、自然や身近なものに興味を広げていく。

図工

- ・ はさみの使い方や絵の具の塗り方などの用具の扱い方を適切に指導し、手先を動かす活動を増やす。
- ・ 創造する手助けとなるような材料や活動を提示することにより、想像の世界を広げていく。
- ・ 友達と作品の面白さや楽しさを伝え合うことを通して、自分で考えて作り出す喜びを味わえるようにしていく。

音楽

- ・ リズム遊びや歌ったり演奏したりする音楽体験を多くし、音楽表現の楽しさに気付かせ、進んで音楽的活動に取り組めるようにしていく。
- ・ 学級内、学年内での歌や器楽演奏などの発表活動を工夫し、取り入れていく。